

# 1. 評価結果概要表

## 【評価実施概要】

事業所番号	272701236		
法人名	医療法人恵仁会		
事業所名	慈花苑・けやき荘		
所在地 (電話番号)	〒039-0201 青森県三戸郡田子町田子字風張20-21 (電話) 0179-20-7131		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成 20年 6月 5日	評価確定日	平成 20年 7月 19日

【情報提供票より】(平成 20年 5月 1日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 17年 7月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	7 人	常勤 7人, 非常勤 人, 常勤換算	7.0人

### (2) 建物概要

建物構造	木造平屋 造り		
	1 階建ての	階 ~	1 階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	20,000 円	その他の経費(月額)	5,000 円
敷金	有( 円) (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 円) (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 900 円		

### (4) 利用者の概要( 5月 1日現在)

利用者人数	9 名	男性 1 名	女性 8 名
要介護1	3 名	要介護2	2 名
要介護3	2 名	要介護4	1 名
要介護5	1 名	要支援2	名
年齢 平均	84.6 歳	最低	79 歳
		最高	98 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	穴倉医院
---------	------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームの前には川が流れており、せせらぎが聞こえる静かな環境であるが、近くには民家や商店が多く、散歩や買い物に便利である。又、町内会に所属して行事等に参加したり、町内会の依頼を受けてホームを開放し、地域の高齢者交流の拠点とされ、住民が気軽に立ち寄れる場となっている。協力医療機関との連携が密に取られているため利用者・職員共に安心して生活しており、重度化や終末期の対応にも方針を作成し取り組んでいる。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の要改善事項について全職員で話し合い、運営推進会議で意見を求めた。災害時に備え、食料と飲料水を備蓄している。内部・外部研修の年間計画を作成する予定であり、計画的に職員を育てる取り組みが行われている。自動ドアの押しボタンが高い位置にあることについては、一人でドアを開けない利用者の外出したい様子を見逃さないよう注意し、ドアを開ける支援を行っている。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>全職員で自己評価を行い、日頃のケアの振り返りとした。サービスの質の向上に向けた気づきや確認、検討する良い機会であると捉えている。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>利用者の現在の状況や今後の取り組みについて報告し、それについて意見が交わされサービス向上に活かされている。又、自己評価や外部評価の結果を報告し、改善策が話し合われている。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10, 11)</p> <p>意見や不満・苦情等を話しやすいよう、苦情受付窓口・担当者を外部に設置し、重要事項説明書に明示、ホーム内に掲示している。又、日頃の会話等からも汲み取れるよう努めている。苦情等があった場合には、処理体制・手順に従って速やかに対応している。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>散歩や買い物に出かけたり、地域の高齢者交流の拠点である等住民とは顔見知りとなっている。ホームの機能を地域に開放する取り組みにより、気軽に行き来できる関係が地域との間に作られている。又、災害時や事故防止の協力体制が話し合われている。</p>

## 2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>・理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	利用者の人間性を尊重し、地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えるサービスに加え、地域密着型サービスの役割として、地域の環境づくりを考慮し、福祉と医療のバランスの良い介護と安心を提供することを理念に掲げられている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ホールや事務所に理念を掲示し、職員全員が十分理解し、理念をもとに日々取り組み介護を行っている。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	町内会に所属し、自治会の行事に参加して住民と顔なじみになっている。友人の支援を得て、利用前から参加していたゲートボールを続けている利用者もあり、その他にも利用者の知人が気軽に訪ねて来る。町内会の依頼を受け、ホームの一部を開放し、地域の高齢者交流の拠点となっている。地域の認知症普及活動等への参加はなされていない。	○	町や在宅介護支援センターで行われている活動に参加する等、地域の認知症普及活動等に取り組むことを期待したい。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>職員全員が自己評価に取り組み、日頃のケアの振り返りの機会としている。改善等が必要な場合は全職員で話し合い、運営推進会議で更に話し合い、利用者へのより良いケアにつながるよう取り組んでいる。</p>		
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議では、利用者の現在の状況や評価の結果と今後の取り組みについて報告し、それについて意見が交わされサービス向上に活かされている。</p>		
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>出来るだけ町担当者へ足を運ぶよう心掛け、事業所の現状を報告したり、わからない点を相談したりして、連携を密接に図るよう取り組んでいる。</p>		
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>外部研修に参加する等して、全職員が理解できている。現在、事業を利用している利用者はいないが、必要に応じて利用者、地域住民へ支援できる体制となっている。</p>		
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待が見過ごされる事のないよう、全職員が内部・外部研修を通して高齢者虐待防止法に関する理解を深め、日々のケアで注意を払っている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>時間をとって丁寧に説明し、利用者や家族の納得の上で契約を交わしている。又、利用者や家族から出された不安や疑問に対してもその都度丁寧に説明し納得を得られるよう努めている。</p>		
10	12	<p>4</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月手紙で近況報告しているほか、家族の面会時に必ず声をかけている。必要に応じて個々に電話等で報告をしている。年4回発行している新聞には、行事の写真や新しいスタッフの写真を掲載し、ホームの様子をわかりやすく伝えている。又、金銭管理は個々にあわせ報告しサインを頂いている。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>意見や不満、苦情等を話しやすいよう、苦情受付窓口・担当者を外部に設置し、重要事項説明書に明示しホーム内に掲示している。又、日頃の会話から汲み取れるよう努めている。苦情等があった場合は、処理体制・手順に従って速やかに対応している。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>利用者の動揺を最小限に抑えるよう、その時期や引継ぎの面で最善の努力をしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
13	17	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員が公平に外部の研修・講習に参加できるよう促し、参加した職員は、毎月行っている内部研修で、全職員に報告している。</p>		
14	18	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>サービスの質を向上させていくため、他施設の行事へ参加したり、他ホームとの昼食会等の交流を通じて、職員間の情報交換を行っている。</p>		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
15	23	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>どうしたら気持ちよく生活出来るか、本人や家族と相談しながら環境づくりをしている。使い慣れた家具を持ち込む利用者が多く、神様を拝む習慣が続けられるよう神棚を設置している利用者もいる。</p>		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
16	24	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>一人ひとりの得意とすることで力を発揮できるよう声掛けや場面設定を工夫し、職員と利用者が共同して生活する中で、苦しみ、不安、喜び等を知ること努め、共に支えあう関係づくりに留意している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
17	30	思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人から直接意見を聞くほか、表情や行動等の観察によりその真意を推し測っている。又、家族からの情報を基に本人の立場になって検討している。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
18	33	チームでつくる利用者本位の介護計画  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人と家族の意見を反映し、職員全員の意見や気付きなどを取り入れた具体的な介護計画を作成している。		
19	34	現状に即した介護計画の見直し  介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	定期的に見直しを行うほか、状態変化や本人・家族の希望の変化が生じた場合、職員全員で話し合い見直しを行い新たな計画を作成している。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
20	36	事業所の多機能性を活かした支援  本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	家族や知人の宿泊時には食事や入浴を提供している。又、利用者の外出希望があれば、ホームの車両を使用して支援を行っているほか、自治会の要望で、地域高齢者の交流の場としてホームの一部を開放している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
21	40	かかりつけ医の受診支援  本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族が希望する医療機関を受診できるよう支援している。受診介助を行うほか、医師の訪問や家族も含めた情報交換や話し合いを行っている。		
22	44	重度化や終末期に向けた方針の共有  重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や終末期の対応についての指針があり、利用時に説明をしている。又、出来るだけ希望に沿えるよう本人・家族と医師が十分話し合いを行っている。職員も重度化や終末期の方針について理解している。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人ファイルは事務所で管理している。プライバシーに関することは自室で話すようにしたり、介助時には羞恥心に配慮し静かに声掛けする等プライバシーの確保に努めている。		
24	49	日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	食事は、時間前に席についている方や配膳されてからホールに来る方等それぞれのペースで始まる。大まかな日課はあるが、利用者は行動をそれにあてはめられることなく、それぞれのペースで過ごしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>献立は利用者からの希望や好み、旬の材料を取り入れ楽しいものになるよう力を入れている。食事は職員と利用者が一緒に同じものを摂り、準備や後片付けも一緒に行われている。</p>		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>入浴は週三回となっているが、希望があれば随時対応している。順番についてもその日の気分や希望、体調に合わせて決めている。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>楽しみのある日々を過ごせるよう、漬物作りや買い物、散歩、軽体操、園芸、裁縫等個々の希望にあわせた気晴らしの支援を行っている。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>買い物、散歩、通院等利用者と相談しながら、日常的に外出する機会を作っている。</p>		



外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>内部・外部研修を通して身体拘束について理解を深めており、身体拘束は行っていない。</p>		
30	63	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>外出しそうな様子を察知できるよう見守りを行い、無断外出時には近隣の商店や住民の協力が得られる体制が整備されており、日中は施錠していない。玄関の自動ドアは、押しボタンが1.5mと高い位置にある為、一人で開けることの出来ない利用者が自由に出入できるように、外出したい様子を見逃さないように気をつけている。</p>		
31	68	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>年1回消防署立ちあいのもと、他3回、合計4回利用者と共に避難訓練を行っている。又、近隣の協力が得られるよう運営推進会議で働きかけている。食料と飲料水を災害発生時に備え備蓄している。</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>代表者の知人の栄養士に相談できる体制となっており、旬の食材を取り入れた、栄養バランスの良い献立が作成されている。又、一人ひとりの食事摂取量や水分摂取量を記録し、把握、個々に対応している。</p>		
33	75	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>感染症に対する取り決めがあり、台所や洗濯場に掲示し、常に気をつけている。時期ごとに危険性の高い感染症について、勉強会を行っている。又、マニュアルが作成されている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p><b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b></p>					
<p><b>(1) 居心地のよい環境づくり</b></p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>広々としたホールに、椅子・テーブル・ソファ・堀コタツが置かれ、利用者が思い思いに過ごせるようになっている。利用者が世話をする季節の花が飾られる等、季節感にも配慮されている。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>本人と家族と相談し、使い慣れた日用品や家具等を持ち込んでいただいたり、好きな写真を飾る等工夫している。一人ひとりの希望や機能にあわせ、畳に布団を敷いて休む方や、ベッドで休む方がいる。</p>		

 は、重点項目。